

参考資料

今シーズンの公表は、今週をもって終了いたします。
来シーズン(2018/2019年シーズン)の公表については、今年の9月からの開始を予定しています。

《感染性胃腸炎による集団発生状況（平成29年9月4日～平成30年5月15日現在）》

施設種別	件数		患者数 [※]	
	新規	累計	新規	累計
社会福祉施設	0	8	0	149
高齢者 障がい	0	5	0	95
保育園	0	0	0	0
その他	0	1	0	15
その他	0	2	0	39
医療機関	0	0	0	0
学 校	0	0	0	0
幼稚園	0	0	0	0
小学校	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0
高 校	0	0	0	0
各種学校	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合 計	0	8	0	149

各施設において10名以上又は総数の半数以上の発生があった時点での報告数です。

感染性胃腸炎にご注意ください！

ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が流行しています。抵抗力の弱い乳幼児や高齢者は脱水症状や吐物の誤嚥で肺炎を起こすなど重症化することがありますので、特に注意しましょう。感染を広げないために重要なことは、嘔吐物や便の適切な処理です。感染力が強いので、適切な防御で適切に処理して自身や周囲に感染を拡げないようにしましょう。ドアノブや蛇口等、不特定多数の人の手指が触れる部分を介して、手指がウイルスに汚染される可能性があります。こまめな手洗いと手指が触れる部分の洗浄・消毒を行いましょう。

《おう吐物（吐いたもの）の処理方法》

【準備するもの】

- 使い捨てタオル、新聞紙、ペーパータオル等
- ハイターやミルトンなどの塩素系漂白剤と水
(500mlの水に5%の塩素系漂白剤をペットボトルのキャップ2杯)
- ビニール袋複数枚
- 使い捨て手袋(ない場合はゴム手袋)
- マスク(ない場合は、タオル等で口と鼻を覆う)
- 手洗い用の石けん

①おう吐物や消毒液が直接触れないよう手袋を着用し、ウイルスを吸い込まないようマスクも着用しましょう。



②おう吐物は、水で濡らした新聞紙などで、外側から内側にむけて静かにふき取ります。



③水で薄めた塩素系漂白剤をペーパータオル等に染み込ませ、できるだけ広い範囲(半径1.5m)を浸すようにふき取ります。



④ビニール袋におう吐物やふき取った新聞紙等と入れ、口をしっかり縛ります。



⑤別のビニール袋に④を入れます。その後、マスクを外し、手袋を裏返しながらかぎます。ゴム手袋を使用した場合は、脱いだものを消毒液で消毒します。



⑥内側を触らないようにして口を縛り、捨てます。

手袋をしていても、必ず最後に石けんでよく手を洗ってください。

